

ジャガイモ掘り オンライン配信

愛教大生、幼稚園児に

刈谷市の愛知教育大幼児教育専攻の一年生三十一人と教員らが七日、大学構内の自然観察実習園でジャガイモ掘りをし、その様子を同大付属幼稚園（名古屋市東区）の園児に向けてオンライン配信した。一部のジャガイモは園に届けられ、十六日にふかしておやつとして食べた。

例年、年長の子どもたちと一緒にイモ掘りを楽しんでいるが、新型コロナウイルス感染拡大防止でオンラ



ハート形のジャガイモをカメラに向ける学生＝刈谷市の愛知教育大構内で（愛教大提供）

イン交流に切り替えた。

ジャガイモは用務員たちが三月に苗を植え、世話してきた。学生らがくわで土を起こし、イモを収穫する姿を教員がスマートフォンで撮影した。ビデオ会議用アプリで配信された映像をモニターを通して見た園児たちは「ジャガイモはどのようになれるのですか」「ハートの形のジャガイモはありますか」などと質問。学生や野田敦敬学長が優しく答えた。